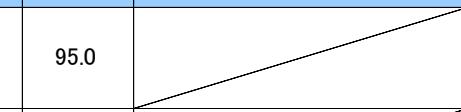
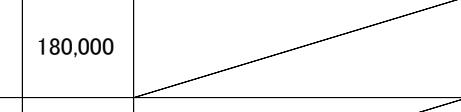
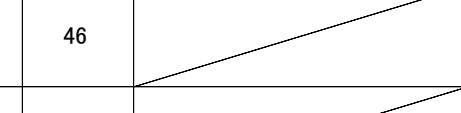
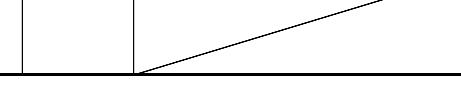


2020年度 施策マネジメントシート【2019年度実績評価】

作成: 2020年 6月 15日

施策番号 2-2-2	施 策 名 スポーツしやすい環境づくり	基本目標 心豊かで輝く人と文化を育むまちづくり 政策名 地域文化の形成とスポーツ環境の充実	
	主 管 課 社会教育課	課長名 日下勝祐	内 線 517
施策関係課			

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図				結果
町民がいつでも気軽に自由にスポーツできる環境づくりをすすめます。		町民	・いつでも気軽に自由にスポーツできるようにする				健康で明るいまちづくりを実現する
成果指標		説明	単位	策定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度(予想)	2022年度目標
① スポーツしやすい環境であると思う町民の割合	住民意識調査	%	92.2	83.6	50.0	95.0	
② 芽室町内の体育施設利用者数	利用実績	人/年	177,638	165,626	90,000	180,000	
③ 高校生以下の初心者がゲートボールを体験できる機会	社会教育課調べ(教室・講座数)	回/年	34	33	10	46	
④							
成果指標 設定の考え方	①住民満足度として非常に高い評価を得る数値とするもの。 (※住民意識調査の回答項目を5択→4択に変更) ②前期計画で達成できなかった数値を目標とするもの。 ③事業機会を30%UPで推進しようとするもの。						

2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算
施策事業費 (千円)	262,925	202,831
人工数(業務量)	1.8149	1.9441

3. 施策の達成状況

(1)施策の達成度とその考察			
①2019年度の成果評価	<input type="checkbox"/> 成果は向上した <input type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input checked="" type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	各施設における修繕作業の増により利用者へ不便をおかけした期間が複数あったこと。
②2022年度の目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標は達成できる <input type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 <input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠 (理由)	<p>H28台風被害からの復旧が、美生川河川敷PG場の再開をもって、野球場、サッカー場とともに一定の作業が終了することから、スポーツしやすい環境づくりに寄与するもの。</p> <p>また、民間団体との連携事業の充実は、町民参加機会を確保するとともに町民満足度に貢献するもの。</p> <p>社会体育施設再整備構想に基づき体育施設の環境整備を推進すること。</p>
(2)施策の成果評価に対する2019年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	各種大会出場支援事業 ゲートボール普及活動事業 チャレンジデー実施事業 スポーツ人材強化・育成事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	・民間団体との連携事業、特に、北海道十勝スカイアース、北海道日本ハムファイターズとの協定事業に対する町民の期待度は高く、すでに実施した各種事業への参加者からの評価、満足度も高いといえる。引き続き、「一流を見て、聴いて、学ぶ」貴重な機会を有効に活用する。協定事業とは別に、ヴォレアス北海道によるバレーボール教室も開催したが、今後も継続して様々な競技における事業を実施していくこととした。 ・各種大会出場の支援は継続実施するが、見直しも含め内容を検討する。 ・ゲートボールの若年世代への普及については、これまでの支援事業の課題を踏まえ今後の方向性を示す必要がある。		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果

進捗結果	A	B	C	D	E
			○		

※該当に○印

- A: 実現した
- B: (前期実施計画策定時と比較して) 大きく前進した
- C: (前期実施計画策定時と比較して) 前進した
- D: (前期実施計画策定時と比較して) 変わらない
- E: (前期実施計画策定時と比較して) 後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<ul style="list-style-type: none"> ・社会体育再施設整備構想における計画的な施設整備、特にプール建替事業が急務。 ・民間団体等との事業連携強化。「一流を見て、聴いて、学ぶ」ための町民参加事業の実施。 ・ゲートボール競技人口の減少。若年層や現役世代社会人に対する普及活動の強化。
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?	<ul style="list-style-type: none"> ・プールの早期建替要望。 ・社会体育施設再整備構想における計画的な施設整備。 ・総合体育館トレーニング機能の充実。 ・体育施設周辺環境整備、駐車場、トイレ、支障木。

5. 施策の成果向上のための具体的な取り組み(今後強化すべき取り組み、新たに実施すべき取り組み)

<ul style="list-style-type: none"> ・社会体育施設再整備構想における計画的な施設整備。 <ul style="list-style-type: none"> →プール建替に関する作業の適正実施。 →施設機能の維持に要する計画的修繕。 ・「一流を見て、聴いて、学ぶ」機会の確保と町民参加事業の充実。 ・ゲートボールは、日本ゲートボール連合が今後打ち出す「再生プラン」を踏まえ、一層の普及促進を図る。 ・本町の「スポーツしやすい環境づくり」と「少年団活動における指導者確保」などについて、総合型地域スポーツクラブの調査・研究と指導者派遣について検討する。

6. 総合計画推進委員会(府内評価)

評価	成果指標は策定期より下回っているが、北海道十勝スカイアースや北海道日本ハムファイターズなどの民間団体との協定・連携により各種スポーツ教室を開催し、一流のスポーツに触れる機会が提供されていることから、スポーツしやすい環境づくりが図られていると評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	ハード事業には限界があるため、総合型地域スポーツクラブなどのような、ソフト事業について、町民を巻き込んだ検討が必要ではないか。	A: 実現した	B: (前期実施計画策定期と比較して) 大きく前進した	C: (前期実施計画策定期と比較して) 前進した	D: (前期実施計画策定期と比較して) 変わらない	E: (前期実施計画策定期と比較して) 後退した	

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	ソフト事業が充実しており、スポーツしやすい環境づくりが図られていると評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	継続して事業を実施してもらいたい。	A: 実現した	B: (前期実施計画策定期と比較して) 大きく前進した	C: (前期実施計画策定期と比較して) 前進した	D: (前期実施計画策定期と比較して) 変わらない	E: (前期実施計画策定期と比較して) 後退した	